

サンマルコ食品(株)
津別工場
(津別町)

生産ラインの集約化と高効率冷蔵冷凍設備の
導入等による節電・省エネ

取組の概要

- 昭和61年に建設した本工場は、消費者ニーズの多様化等への対応のため、昭和63年から平成4年の間に3度の増設工事を行った結果、4工場に11本の生産ラインが分散する状態となり、生産効率が低下。
- また、冷蔵冷凍設備やボイラーの老朽化により、エネルギーの消費ロスが大きくなり、生産効率の向上と設備の省エネ化が課題。
- そこで、平成24年の新工場建設に合わせて、分散していた生産ラインを集約するとともに、特にエネルギーの消費が大きい冷蔵冷凍設備やボイラーの高効率化により、工場全体の省エネルギー化を実現。
- 平成24年度エネルギー使用合理化事業者支援事業（経済産業省）を活用。
- 平成25年度「北国の省エネ・新エネ大賞（北海道経済産業局長賞）」を受賞。



▲高効率冷蔵冷凍設備

■製造ラインの集約化

従来の4工場11ラインから2工場6ラインに集約することで、従業員の動線や原料資材、製品等の流れをシンプルにして生産効率を向上。また、工場棟の集約により冷暖房や照明等でエネルギー使用量を削減。

■高効率冷蔵冷凍設備の導入

従来の冷凍冷蔵庫（11台で789kW）から高効率冷凍冷蔵設備（6台で362kW）に更新することで、電力使用量を削減。また、環境に配慮し、自然冷媒を使用した設備を導入。



▲排熱回収高効率ボイラー

■排熱回収高効率ボイラーの導入

内蔵されたコンピューターで制御し、常に最適な燃焼状態を維持することで、高効率化を実現。また、蒸気ドレンを回収し給水の加熱に利用することで、さらなる効率化を実施。

節電・省エネ効果

【事業費総額 約 25 億円】

	エネルギー使用量 (原油換算kl)	電力使用量 (千kWh)	使用最大電力 (kW)
取組前	2,965	7,757	2,400
取組後	2,552	6,502	1,850
削減率	13.9%	16.2%	22.9%

※平成23年4月～平成24年3月と平成24年4月～平成25年3月の比較。

！ここもポイント

- 工場全体のエネルギー使用量を把握するために見える化設備を導入し、データを蓄積・分析することで、問題点をいち早く発見し、迅速に対応。
- また、エネルギー使用量を見える化したことで、社員の省エネやコストに対する意識が向上。



▲見える化システム

企業概要



サンマルコ食品(株) 津別工場

- 所在地：網走郡津別町字活汲86番地
- 代表者：代表取締役社長 藤井 幸一
- 業種：製造業（冷凍食品の開発・製造・販売）
- 問い合わせ先：生産部 生産技術課
- 電話番号：0152-76-1155
- URL：http://www.sanmaruko.co.jp/